

令和4年  
岩手県教育委員会定例会  
4 月

岩 手 県 教 育 委 員 会

令和4年4月 岩手県教育委員会定例会議事日程

令和4年4月18日（月）午後1時30分

第1 会期決定の件

第2 事務報告1 新型コロナウイルス感染症の対応状況について (教育企画室)

第3 事務報告2 令和4年2月県議会定例会の概要について (教育企画室)

第4 事務報告3 令和4年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について (学校教育室)

第5 議案第1号 岩手県文化財保護審議会委員の任命に関し議決を求めることについて (生涯学習文化財課)

第6 議案第2号 公立小中学校長の人事の臨時専決処理に関し承認を求めることについて (教職員課)

閉会

## 事務報告 1

### 新型コロナウイルス感染症の対応状況について

学校における新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う対応状況について、報告します。

令和4年4月18日



## 新型コロナウイルス感染症の対応状況について

### 1 公立学校における感染者数及び臨時休業等の状況

#### (1) 感染者数（令和4年4月18日 9時現在）

- ・ 児童生徒 4,595人（1/1～4,324人）
- ・ 教職員 272人（1/1～ 238人）

#### (2) 臨時休業等の措置状況（令和4年4月18日 9時現在）

	学級閉鎖		学年閉鎖		臨時休業	
	全体	1/1～	全体	1/1～	全体	1/1～
小学校	158	152	71	66	78	51
中学校	72	66	19	15	46	26
高等学校	35	32	20	17	32	11
特別支援学校	2	2	5	5	10	8
計	267	252	115	103	166	96

### 2 学校支援体制（継続）

#### (1) 情報収集・相談窓口班

学校における感染者数、休業の状況等の情報収集や学校運営等に関する相談に対応する。

- ・ 学校における感染者等の情報収集
- ・ 学校からの相談対応
- ・ オンライン活用・業務支援班への情報の引継

#### (2) オンライン活用・業務支援班

県立学校、市町村立学校の学校運営の継続に加え、オンライン等の活用を積極的に推進するため、学校からの要望（必要に応じてプッシュ型）に応じて、指導主事（事務局職員）等を学校に派遣する。

- ・ 県立学校支援チーム
- ・ 特別支援学校支援チーム
- ・ 小・中学校支援チーム
- ・ 出先機関、社会教育施設等支援チーム

### 3 保健所との連携強化

県教育委員会と市町村教育委員会から保健所にリエゾンとして職員を派遣するとともに、児童生徒等や教職員に感染者が確認された場合の接触状況の確認等の業務を支援している。

#### 4 小学校等における新型コロナウイルス一斉・定期的検査の実施について

学期の開始にあわせ、クラスターの事例が多い小学校のほか、医療的ケアが必要な児童等が在籍する特別支援学校等の教職員を対象に、一斉・定期的検査を実施する。(教育・保育施設については既に一斉・定期的検査を実施中)

##### (1) 対象地域

県内全域 (調整中)

##### (2) 対象施設及び対象者数

小学校、特別支援学校の教職員であって無症状の者 (児童等に直接接触する教職員等)

校 種	学校数	対象者数
小学校	296	5,300
特別支援学校	15	1,400
計	311	6,700

##### (3) 実施期間

令和4年4月中旬～

#### 5 感染症対策の再徹底について

学校において感染者数が高止まりしている状況や学校衛生管理マニュアル及び学校運営ガイドラインの改訂を踏まえ、改めて感染症対策を徹底していく。

ア 感染が拡大している地域においては、感染症対策を講じてもなお感染リスクが高い学習活動のうち特にリスクが高いもの (※) については、基本的に控える。その他の地域においては、実施を慎重に検討する。

イ 部活動については、部活動前後での集団での飲食や部室等の共有エリアの一斉利用を控えるなど、部活動に付随する場面での感染症対策を徹底する。

ウ 県立学校における学校行事においては、マスク着用や咳エチケットの励行、会場の換気などの基本的な感染症対策のほか、参加人数の制限や行事の内容の簡素化を図るなどの工夫をしながら実施する。

※ 文部科学省「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル～『学校の新しい生活様式』～Ver.8 (令和4年4月1日)における感染リスクの高い学習活動の例

- ・ 各教科等に共通する活動として「児童生徒が長時間、近距離で対面形式となるグループワーク等」及び「近距離で一斉に大きな声で話す活動」
- ・ 音楽における「室内で児童生徒が近距離で行う合唱及びリコーダーや鍵盤ハーモニカ等の管楽器演奏」
- ・ 家庭、技術・家庭における「児童生徒同士が近距離で活動する調理実習」
- ・ 体育、保健体育における「児童生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」

## 事務報告 2

### 令和4年2月県議会定例会の概要について

令和4年2月県議会定例会が開催されましたので、概要について別紙のとおり報告します。

令和4年4月18日



## 令和4年2月県議会定例会の概要について

2月県議会定例会の概要は、次のとおりであった。

### 1 日 程

2月16日（水）	本会議（招集、教育長演述、 議案の提案、質疑、委員会付託） 本会議（常任委員会委員長報告、採決）
2月24日（木）～3月2日（水）	本会議（代表質問、一般質問、 議案の提案、質疑、委員会付託）
3月3日（木）	常任委員会
3月4日（金）	本会議（常任委員会委員長報告、採決）
3月7日（月）～3月18日（金）	予算特別委員会（教育委員会審査：3月14日（月））
3月22日（火）	常任委員会
3月24日（木）	東日本大震災津波復興特別委員会
3月25日（金）	本会議（予算特別委員会委員長報告、採決、 議案の提案、質疑、委員会付託） 本会議（常任委員会委員長報告、質疑、討論、採決）

### 2 招 集

招集日において、本会議冒頭に教育長から令和4年度教育施策についての演述を行った。

### 3 代表質問・一般質問

#### (1) 会派別一般質問議員数（15人）

希望いわて	5人
自由民主党	5人
いわて新政会	2人
いわて県民クラブ	2人
日本共産党	1人

#### (2) 代表質問（教育委員会関係：なし）

#### (3) 一般質問（教育委員会関係：7人）

次の議員から質問があり教育長が答弁した。

##### ア 神崎 浩之 議員 2件

(ア) 教育の充実について

- ① 高校生の学力向上について
- ② ICTを活用した新型コロナウイルス感染症への対応について

##### イ 小西 和子 議員 7件

(イ) 新型コロナウイルス感染症対策について

- ① 学校における人員体制の強化について

- (イ) ゆたかな教育の実現について
    - ① 不登校児童生徒の教育機会の確保について
    - ② 教職員の確保と働き方改革について
      - a 教職員の確保について
      - b 働き方改革について
  - (ウ) 東日本大震災津波からの復興と防災について
    - ① 被災児童生徒に対する支援の充実について
- 【再質問】 スクールサポートスタッフの配置について
- 【再質問】 働き方改革の取組状況について

**ウ 佐々木 朋和 議員 1件**

- (ア) 新型コロナウイルスのオミクロン株への対応について
  - ① まん延防止と社会活動の両立
    - a 公立学校におけるまん延防止について

**エ 千葉 秀幸 議員 3件**

- (ア) 教育現場におけるICT活用について
    - ① ICTの活用状況について
    - ② 今後のICTの有効活用に向けた課題と対策について
- 【再質問】 ICTの活用状況について

**オ 高橋 こうすけ 議員 2件**

- (ア) GIGAスクール構想について
  - ① 1人1台端末の整備について
  - ② 教員のITリテラシーの向上について

**カ 工藤 勝博 議員 3件**

- (ア) コロナ禍における教育と専門高校での人材育成について
  - ① コロナ禍と教育格差について
  - ② コロナ禍の教育活動への影響について
  - ③ 専門高校での人材育成について

**キ 斉藤 信 議員 6件**

- (ア) 教育の課題について
    - ① 福岡工業高校と一戸高校の統合問題について
    - ② 県立学校バレーボール部員の自死問題について
      - a 調査報告書と裁判の結果について
      - b 暴言と体罰の実態について
- 【再質問】 暴言と体罰の実態について
- c 顧問教師の処分について
- 【再質問】 顧問教師の処分について

**4 文教委員会【3月3日(木)】**

**(1) 議案の審議**

ア 議案第42号「令和3年度岩手県一般会計補正予算（第12号）第1条 第2項 第1表 歳入歳出予算補正中 歳出 第10款 教育費のうち教育委員会関係及び 第2条 第2表 繰越明許費補正中 第10款 教育費のうち教育委員会関係」について、教育企画室長兼教育企画推進監から

提案理由の説明を行った。

(ア) 質問等

小西和子委員、岩淵誠委員及び斉藤信委員から釜石祥雲支援学校の教室不足、特別支援学校の多様なニーズへの対応、予算の減額理由、部活動指導員の配置、県立高校の1人1台端末の整備等について質問があり、教育長及び関係課長が答弁した。

(イ) 採決

原案どおり可決された。

イ 議案第67号「損害賠償請求事件に係る和解及びこれに伴う損害賠償の額を定めることに関し議決を求めることについて」、学校施設課長から提案理由の説明を行った。

(ア) 質問等

なし

(イ) 採決

原案どおり可決された。

(2) その他（この際発言）

小西和子委員、岩淵誠委員、斉藤信委員及び小林正信委員から公立高校一般入学者選抜における新型コロナウイルス感染症の対応、心とからだの健康観察の集計結果、働き方改革プラン、1人1台端末の活用状況、学校における新型コロナウイルス感染状況と感染対策、福岡工業高校と一戸高校の統合、再発防止「岩手モデル」の策定と顧問教師の処分、教員の就業環境及びいじめ対策等について質問があり、教育長及び関係課長が答弁した。

5 予算特別委員会の審議

(1) 総括質疑【3月7日（月）～8日（火）】（教育委員会関係：2人）

次の委員から質問があり菊池副知事が答弁した。

ア 吉田 敬子 委員 3件

(ア) 医療的ケア児の支援について

① 看護師の配置について

(イ) 教育について

① 多様な学びの場の提供について

② インクルーシブ教育について

イ 木村 幸弘 委員 2件

(ア) 令和4年度当初予算編成方針について

① 人口減少社会への対応について

a 教育施策について

(a) いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業について

(b) 多様な学びの機会の保障について

(2) 教育委員会部審査【3月14日（月）】

議案第2号「令和4年度岩手県一般会計予算のうち教育委員会関係」について、教育長から説明を行った。

次の委員から質問があり、教育長及び関係課長が答弁した。

ア 高橋 はじめ 委員 5件

(ア) 遠隔授業の推進について

- ① 令和3年度の事業実施内容と評価について

【再質問】遠隔授業の授業者、生徒の反応について

- ② 令和4年度の取組と課題及び課題解決について

【再質問】遠隔授業を行う科目について

- ③ 遠隔授業の将来の構想について

**イ 工藤 大輔 委員 8件**

(ア) 復興教育がどのように活着しているかについて

(イ) 就学前からの継続的な復興教育について

- ② 就学前の子どもたちへの復興教育の方向性について

- ③ 絵本の内容の所感について

(ウ) コロナ対策について

- ① 新年度の学校のクラスター対策等の取組について

- ② 部活動に関する制限及び解除基準について

【再質問】制限等の解除に向けた方針について

(エ) いわたの高校魅力化グランドデザインに基づくスクール・ポリシーや計画の策定支援について

【再質問】スクール・ポリシーに関する取組について

**ウ 佐々木 努 委員 4件**

(ア) 中学校の部活動について

- ① 市町村部活動在り方方針の改訂状況について

- ② 加入状況の推移について

【再質問】部活動に所属させることについて

【再質問】部活動の任意加入への所感について

**エ 郷右近 浩 委員 2件**

(ア) GIGAスクールについて

- ① 1人1台端末の使用状況について

- ② GIGAスクール運営支援センターの役割等について

**オ 吉田 敬子 委員 8件**

(ア) 多様な学びの場の提供について

- ① 教育機会確保法との整合性について

- ② フリースクール等との合同会議について

【再質問】教育機会確保法における社会的自立について

【再質問】不登校対策について

(イ) いじめや自殺防止対策（再発防止「岩手モデル」）について

- ① 策定スケジュールについて

【再質問】策定期間について

- ② SOSを受け止められる体制構築について

- ③ 新年度における相談体制の取組について

**カ 佐々木 朋和 委員 10件**

(ア) 特別支援教育における幸福関連指標について

- ① 現状の認識等について

② 指標の設定について

【再質問】数値結果の認識について

【再質問】指標の観点を取り入れることについて

(イ) 支援を要する児童生徒の増加・多様化と予算について

(ウ) 県立学校医療的ケア体制整備事業費について

① 看護師の配置に係る予算の拡充について

【再質問】看護師配置に係る国庫事業について

② 特別支援学校から高校、高等部への進学状況について

③ スクールバス等の通学支援について

④ 特別支援学校の整備計画における市町村との連携について

**キ 高田 一郎 委員 9件**

(ア) 学校での感染状況と感染対策について

① 学校現場での感染状況について

② 教職員のワクチン接種の促進と検査強化の取組について

a 教職員のワクチン接種の促進と検査強化の取組について

b 抗原検査キットの活用状況について

【再質問】教職員のワクチン接種の促進に係る市町村の取組状況の把握について

【再質問】使用されない抗原検査キットについて

(イ) 県立学校におけるALPS処理水のチラシの配布状況等について

【再質問】国の対応に関する見解について

(ウ) 県内公立学校のトイレへの生理用品配置状況について

【再質問】県の取組状況について

**ク 千田 美津子 委員 12件**

(ア) 県内のいじめ・不登校の現状と対応について

① 県内のいじめ・不登校の現状について

② いじめ・不登校への対応策と新年度の方針について

【再質問】小学校におけるいじめの認知件数の増加に伴う対応について

【再質問】スクールカウンセラーの小学校への配置について

【再質問】寝屋川方式の導入について

【再質問】スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーの確保について

(イ) 通学路の安全対策について

① 関係機関と連携した合同点検による通学路の安全確保の取組状況について

② 学校と教育委員会における対策必要箇所の対応状況について

【再質問】来年度以降に行う対策について

(ウ) 学校施設の耐震化、エアコンの設置、トイレの様式化等の進捗状況について

【再質問】エアコンの整備状況について

【再質問】トイレの様式化について

**ケ 木村 幸弘 委員 11件**

(ア) がん教育総合支援事業について

① がん教育指導者について

② 指導マニュアルの作成内容について

③ がん教育の実施実績について

④ 研修会の講師について

【再質問】指導計画における位置づけについて

【再質問】がん教育の拡充について

(イ) 特別支援学校整備計画について

- ① 本県における教室不足の実態について
- ② 県内各特別支援学校の不足数の内訳について
- ③ 教室不足への学校現場での対応について
- ④ 釜石祥雲支援学校の新築移転による不足解消の効果について
- ⑤ 今後の教室不足の解消方針について

コ 上原 康樹 委員 3件

(ア) ロシアのウクライナ侵攻が与える児童生徒への影響について

(イ) 世界の状況に応じた平和教育について

(ウ) これからの学校教育について

6 文教委員会【3月22日（火）】

(1) 調査事項

「岩手県立博物館における文化財への不適切行為事案調査結果（最終報告）について」、生涯学習文化財課総括課長から説明を行った。

(ア) 質問等

岩淵誠委員、千葉伝委員、斉藤信委員及び小野共委員から資料分析の契約及び職員の処分等について質問があり、教育長、教育局長及び関係課長が答弁した。

(2) その他（この際発言）

小西和子委員、斉藤信委員、小林正信委員及び佐々木宣和委員からスクールサポートスタッフの配置、働き方改革、地域部活動と高校入試、県立学校における1人1台端末の整備、高校再編計画における福岡工業高校の統合、不来方高校自死事案に係る顧問教師の処分、スクールソーシャルワーカーの配置、GIGAスクール構想及びICT教育等について質問があり、教育長及び関係課長が答弁した。

※ 各議員毎の件数は項目数であり、同一項目の関連質問は含んでいないため、件数と答弁実績数は一致していないこと。

### 事務報告 3

#### 令和4年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について

令和4年度の岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について、別紙のとおり報告します。

令和4年4月18日



## 令和4年度岩手県立特別支援学校高等部の学級数等について

### 1 学級設置の基本的な考え方

障がいのある生徒に一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援を行い、望ましい成長発達を促すとともに、社会参加と自立を図るため、県立特別支援学校高等部の在籍数及び入学希望見込みの増減等を勘案し、毎年度適正規模に調整するものとする。

### 2 学級数の増減

学校名	科・学級	予定 (10月時点)		決定 (4月1日時点)		増 減		備 考
		学級数	定員	学級数	定員	学級数	定員	
盛岡視覚	普通科 重複障がい学級	1	3	0	0	△1	△3	入学予定者無
	保健医療科 通常学級	1	8	0	0	△1	△8	入学予定者無
盛岡聴覚	普通科 通常学級	<u>1</u>	<u>8</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>△1</u>	<u>△8</u>	<u>入学予定者無</u>
	普通科 重複障がい学級	1	3	0	0	△1	△3	入学予定者無
花巻清風	普通科 通常学級	3	24	2	16	△1	△8	
	普通科 重複障がい学級	4	12	5	15	1	3	
盛岡青松	普通科 通常学級	<u>1</u>	<u>8</u>	<u>0</u>	<u>0</u>	<u>△1</u>	<u>△8</u>	<u>入学予定者無</u>
	普通科 重複障がい学級	2	6	1	3	△1	△3	
一関清明	普通科 重複障がい学級	4	12	6	18	2	6	
	普通科 (知的) 通常学級	2	16	1	8	△1	△8	
釜石祥雲	普通科 (知的) 通常学級	2	16	1	8	△1	△8	

〈参考〉

### 令和元年度以降の学級数・募集定員

	令和4年度		令和3年度		令和2年度		令和元年度	
	学級数 (変更前)	合格者数 (募集定員)	学級数 (変更前)	合格者数 (募集定員)	学級数 (変更前)	合格者数 (募集定員)	学級数 (変更前)	合格者数 (募集定員)
通常学級	28 (34)	145名 (272名)	32 (38)	192名 (304名)	29 (34)	160名 (272名)	32 (35)	203名 (280名)
重複障がい学級	38 (38)	47名 (114名)	33 (37)	45名 (111名)	35 (36)	39名 (108名)	37 (38)	43名 (114名)
合 計	66 (72)	192名 (386名)	65 (75)	237名 (415名)	64 (70)	199名 (380名)	69 (73)	246名 (394名)

※ 通常学級は、1学級8名定員を基準とする。

※ 重複障がい学級は、1学級3名定員を基準とする。また重複障がい学級は1～3年を通じた学級である。

令和4年度岩手県立特別支援学校高等部・専攻科学級数及び合格者数一覧

対象障がい	学校名	部	学科	学級数・募集人数	志願者数	合格者数	入学辞退者数	備考				
視覚障がい	盛岡視覚支援学校	高等部	普通科	通常 1学級	8	1	1	0				
				重複 0学級	3	0	0	0	1学級減			
		専攻科	保健医療科	通常 0学級	8	0	0	0	1学級減			
				通常 1学級	8	1	1	0				
聴覚障がい	盛岡聴覚支援学校	高等部	普通科	通常 0学級	8	1	1	1	1学級減			
				重複 0学級	3	0	0	0	1学級減			
		専攻科	産業技術科	通常 1学級	8	4	4	0				
				通常 1学級	8	2	2	1				
知的障がい	盛岡峰南高等支援学校	高等部	生活科学科 農産技術科 加工生産科 流通・サービス科	通常 4学級	32	29	28	0	不合格1			
				盛岡みたけ支援学校	高等部	普通科	通常 2学級	16	10	10	0	
							重複 4学級 ※	12	6	6	0	
				二戸分教室	高等部	普通科	通常 1学級	8	9	9	0	
	重複 2学級 ※	6	2				2	0				
	盛岡ひがし支援学校	高等部	普通科	通常 2学級	16	12	12	0				
				重複 4学級 ※	12	2	2	0				
	知的障がい・ 肢体不自由	花巻清風支援学校	高等部	普通科	通常 2学級	24	13	13	1	1学級減		
重複 5学級 ※					12	5	5	0	1学級増			
前沢明峰支援学校		高等部	普通科	通常 3学級	24	20	20	1				
				重複 5学級 ※	15	4	4	0				
気仙光陵支援学校		高等部	普通科	通常 1学級	8	4	4	0				
				重複 1学級 ※	3	1	1	0				
宮古恵風支援学校		高等部	普通科	通常 2学級	16	12	12	1				
				重複 3学級 ※	9	3	3	0				
久慈拓陽支援学校		高等部	普通科	通常 1学級	8	8	8	0				
				重複 1学級 ※	3	0	0	0				
肢体不自由	盛岡となん支援学校	高等部	普通科	通常 1学級	8	3	3	1				
				重複 3学級	9	7	7	0				
病弱	盛岡青松支援学校	高等部	普通科	通常 0学級	8	2	2	2	1学級減			
				重複 1学級	6	3	3	0	1学級減			
病弱・ 知的障がい・ 肢体的不自由	一関清明支援学校	高等部	普通科(病・肢) 普通科(知的) 普通科	通常 1学級	8	4	4	2				
				通常 1学級	16	3	3	0	1学級減			
				重複 6学級 ※	12	9	9	0	2学級増			
				あすなろ分教室	普通科	重複 1学級	3	2	2	0		
病弱・ 肢体的不自由	釜石祥雲支援学校	高等部	普通科(病・肢) 普通科(知的) 普通科	通常 1学級	8	2	2	1				
				通常 1学級	16	5	5	0	1学級減			
				重複 1学級 ※	3	1	1	0				
				しゃくなげ分教室	普通科	重複 1学級	3	2	2	0		
訪問教育	盛岡となん支援学校	高等部	普通科	※	若干名	1	1	0				
	盛岡みたけ支援学校	高等部	普通科	※	若干名	0	0	0				
	盛岡ひがし支援学校	高等部	普通科	※	若干名	0	0	0				
	花巻清風支援学校	高等部	普通科	※	若干名	0	0	0				
	前沢明峰支援学校	高等部	普通科	※	若干名	0	0	0				
	一関清明支援学校	高等部	普通科	※	若干名	0	0	0				
	気仙光陵支援学校	高等部	普通科	※	若干名	0	0	0				
	釜石祥雲支援学校	高等部	普通科	※	若干名	0	0	0				
	宮古恵風支援学校	高等部	普通科	※	若干名	0	0	0				
	久慈拓陽支援学校	高等部	普通科	※	若干名	0	0	0				

66学級(通28、重38) 386 193 192 11

※は1～3学年を通じた人数として示している。

\*合格者数は訪問教育を除く

は3月15日以降に変更となったもの

議案第 1 号

岩手県文化財保護審議会委員の任命に関し議決を求めることについて

次のとおり岩手県文化財保護審議会委員の任命をすることについて、議決を求める。

任命（令和 4 年 5 月 1 日付）

職 名 等	氏 名
東海大学准教授	兼 平 賢 治
前一関市博物館主任学芸員	小 岩 弘 明
長岡造形芸術大学准教授	津 村 泰 範
東北歴史博物館上席主任研究員	政 次 浩
前秋田県立博物館館長	高 橋 正
盛岡大学名誉教授	熊 谷 常 正
御所野縄文博物館館長	高 田 和 徳
弘前大学教授	小 岩 直 人
岩手県立大学講師	松 木 佐和子
一関市教育委員会文化財調査研究員	東 資 子
元財団法人石川啄木記念館学芸員	山 本 玲 子

令和 4 年 4 月 18 日提出

岩手県教育委員会教育長 佐 藤 博

理由

岩手県文化財保護審議会委員の任命をしようとするものである。これが、この議案を提出する理由である。

## 岩手県文化財保護審議会委員（案）

(R4. 5. 1～R6. 4. 30)

分 野	現 職	氏 名	年 齢	性 別	居 住 地	任 期 満 了 時 年 数
学 識 経 験 者	東海大学准教授	兼平 賢治	45	男	神奈川県 伊勢原市	6
	前一関市博物館主任学芸員	小岩 弘明	63	男	一関市	6
	長岡造形芸術大学准教授	津村 泰範	49	男	新潟県 長岡市	2（新任）
	東北歴史博物館上席主任研究員	政次 浩	56	男	宮城県 仙台市	2（新任）
	前秋田県立博物館館長	高橋 正	61	男	秋田県 由利本荘市	4
	盛岡大学名誉教授	熊谷 常正	69	男	盛岡市	6
	御所野縄文博物館館長	高田 和徳	72	男	一戸町	8
	弘前大学教授	小岩 直人	56	男	青森県 弘前市	4
	岩手大学講師	松木 佐和子	46	女	盛岡市	2（新任）
	一関市教育委員会文化財調査研究員	東 資子	56	女	一関市	2（新任）
	元財団法人石川啄木記念館学芸員	山本 玲子	64	女	八幡平市	10

チェック項目	前 回	今 回
◎ 委員数【16人以内】	11人(新任2人)	11人(新任4人)
◎ 男女共同参画の推進に配慮【男女いずれか一方の数が総委員数の40%未満となっていない】	27.3% (3/11)	27.3% (3/11)
◎ 若手委員（50歳未満登用率【25%以上】）	9.1% (1/11)	27.3% (3/11)
◎ 委員の平均年齢	61.2歳	57.7歳
◎ 在任期間8年超	あり	あり